

令和 5 年 10 月 2 日 メルボルン交流抄

「在豪日本人作家との出会い」

岩城けいさんは、オーストラリア在住の日本人女性作家です。最近まで、こちらにいらっしゃることを存じ上げなかったのですが、ある方から紹介していただきました。岩城さんは、2013 年、自著の「さよなら、オレンジ」(写真①)で、太宰治賞を受賞されました。千数百件に及ぶ応募作品の中から選ばれたのだそうです。その後、同作は芥川賞候補となり、2014 年には大江健三郎賞を受賞するという華々しいデビューを飾られました。この作品では、多民族国家で生きる人々の心の中の叫びが胸に迫ります。

そして、「Masato」「Matt」「M(エム)」(写真②)の 3 部作を出されています。この三部作で出てくるメルボルンのシーンは、一度でもメルボルンの街を歩いたことがある方には、容易に目に浮かぶことでしょう。まだ来られたことがない方は創造力を掻き立てられることでしょう。

皆さん、是非一度手に取ってみてください。

岩城さん、これからも在豪作家としてますますのご活躍をお祈りしています。

写真①



写真②

